



遠藤 智議員

救急医療の地域格差を解消せよ

山田町長／地域医療の充実を要望している

遠藤 救急隊が病院に照会しても受け入れられなかった回数が、いわき市と双葉郡は突出している現状にあります。

いわき市への救急病院の利用が多い本町としては、どのような対応をはかっているのでしょうか。

町長 双葉郡町村会、双葉地方広域市町村圏組合をとおして、双葉地方の地域医療体制の充実を福島県ならびに福島県議会に強く要望しているところです。



要請を受けて出動する救急車（富岡消防署櫛葉分署）

障がい者移動支援を充実せよ

山田町長／各種の移動支援に対応している

遠藤 障がい者自立支援法に基づき、

市町村地域生活支援事業の移動支援事業について、どのような対応をはかっているのでしょうか。

町長 本町は、個別的に支援が必要な

障がい者に対して、ホームヘルパーの介添えによる移動支援を行っています。また、重度身体障がい者は、障がい者福祉

施設※ケアホームにおいて、障がい程度が軽い方は、障がい者福祉

施設※グループホームにおいて、それぞれ相談や日常生活上の援護の支援が受けられます。

※グループホーム（共同生活援助）

就労または就労継続支援等の日中活動を利用している知的障がい者・精神障がい者が、地域において自立した日常生活を営む上で、相談等の日常生活上の援助を受けながら、地域の中で共同生活をおくる場所のこと。

※ケアホーム（共同生活介護）

介護や就労継続支援等の日中活動を利用している知的障がい者・精神障がい者が、地域において自立した日常生活を営む上で、食事や入浴等の介護や日常生活上の支援を受けながら、地域の中で共同生活をおくる場所のこと。

追跡 レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成20年6月定例会 ●一般質問

塩 史子 議員

個人住宅の耐震改修に取り組み

近年、国の内外を問わず大きな地震が多発していますが、町の公共施設の耐震改修は完了したのですか。

また、個人住宅の耐震改修に町はどのように取り組んで行くのですか。



山田町長／ 建築物耐震改修計画を策定する

平成7年に施行された耐震改修促進法に基づき、改修工事が必要と診断された施設は補強工事を行っています。

町営住宅については、診断した結果、倒壊の危険は少ないものの、今後大規模改修等を含め検討して行きます。

個人住宅の耐震改修については、個人住宅改良支援事業を推進しているところです。



建築物の耐震改修に補助金を交付

今後発生が予想される大地震等の被害を最小限に食い止め、町民の尊い生命と財産を守るために、「広野町耐震改修促進計画」を策定して、建築物の多数を占める木造住宅や町有建築物の耐震診断を押し進めます。

対象となる建物は、昭和56年5月31日以前に建設された木造住宅で、耐震診断にともなう個人負担は一律6,000円、耐震改修に対する補助は、工事に要する費用の3分の2以内、金額にして60万円以内としています。

9人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所見を問いたですものです。

一般質問席（広野町議会議場）